

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第37号

古牧だより通算131号



竜は一寸にして昇天の気あり

みんなで手を携えて 安全・安心の古牧に

古牧地区住民自治協議会 会長 湯沢 角雄

新年明けましておめでとうございます。

古牧地区の皆様には、健やかに輝かしい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

顧みる昨年は、未曾有の東日本大震災を始め、台風・豪雨等による災害が多発し、県内でも栄村・松本市等において地震による災害が発生しました。

古牧地区におきましては、幸い大きな災害や事件等もなく過ごすことができましたが、災害、とりわけ地震はいつどこで発生するかわかりません。

そこで、古牧地区住民自治協議会としましては、地震等の災害に対応するために、身近な住いの防災情報や災害に備えた日頃の対策などを掲載したハンドブック「安心・安全

わが家の防災」を作成し全世帯に配布いたしました。さらに、古牧地区全体で自主防災連絡会を組織し、地域ぐるみの広域的な自主防災体制の整備と各種防災訓練などを実施し災害発生時の被害の軽減に備えるとともに、自力で避難することが困難な高齢者・障害者等の避難を地域の方々が支援するための仕組みづくりに取り組んでおります。

本年も引き続き社会経済情勢が大変厳しい中ではありますが、人と人との「絆」を大切にしながら地域みんなで手を携え、「より安全・安心で住みやすい古牧づくり」に邁進しようではありませんか。

年頭に当り、皆様のご多幸とご健康をお祈り申し上げます。

古牧地区から5人が入選 (防犯ポスターコンクール)

平成23年度防犯ポスターコンクール最終審査会が、10月6日県庁講堂で行われました。小学校254校から6,418点の応募作品があり、4年生の部で渡辺さんが、金賞に入選しました。古牧地区からの入選は5人でした。中学生での入賞は、残念ながらありませんでした。

学年	賞	氏名	学校・地区
小学校4年	金賞	渡辺 咲希	緑ヶ丘小(南高田)
"	銀賞	松澤 亮弥	古牧小(平林)
5年	銅賞	青木 諒大	緑ヶ丘小(南高田)
"	銅賞	中村 優斗	緑ヶ丘小(南高田)
6年	銅賞	大村まひろ	南部小(上高田)



金賞 4年 渡辺 咲希さん

4年 松澤 亮弥さん

銀賞



入選作品は県内6か所で巡回展示されました。

平成23年度

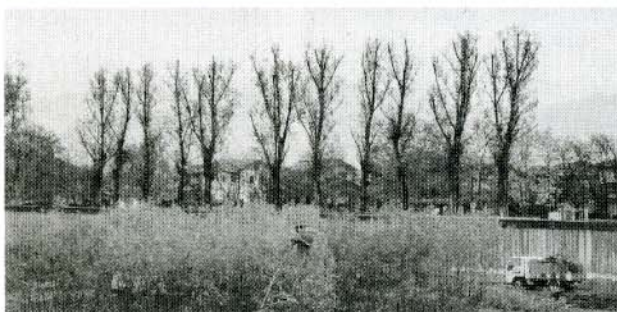
古牧地区「元気なまちづくり 市民会議」開催

古牧地区「元気なまちづくり市民会議」が、11月23日（祝）午後2時より古牧公民館集會室で催されました。地区住民140名、来賓20名、市側から鷺澤市長はじめ部長等9名が出席しました。

今年の市民会議は昨年と同じく「講演方式」で最初に鷺澤市長の講演「防災体制の整備」を聞き、その後前年度の課題処理経過報告が各担当部長よりあり、自由討議に入りました。

前年度課題処理経過説明では、北八幡川調整池浚渫工事・三重公園ポプラの剪定の工事は今年度で終了することが報告され、自主防災対策は見直し、緑ヶ丘児童館建設は困難、災害時要援護者支援事業については検討中などの報告がありました。

自由討議では 西尾張部・東和田・南高田・中村の地域公民館の耐震診断・整備費拡大、古牧公民館の拡充整備、放課後子どもプランの拡充などの発言がありましたが、出来ない・困難であるなどの回答が担当部長よりあり、閉会しました。



浚渫工事が進む調整池と剪定の終わった
三重公園のポプラ（23.11.29撮影）



西尾張部公会堂
（昭和34年築 52年経過）



東和田公会堂
（昭和41年築 46年経過）



南高田公会堂
（昭和30年築 56年経過）



中村公会堂
（昭和50年築 36年経過）

※本体は大正14年の民家を使用
86年経過

4地区連絡会

「環境美事業」について情報交換

吉田・三輪・芹田・古牧地区の4地区住民自治協議会は、部門別の課題について情報交換・協議する場として4地区連絡会を23年2月から開催してきました。第1回は平成23年2月に行われ、福祉部会の情報交換が行われました。以後、全体・組織問題・安全部会、公民館部会のそれぞれの課題について連絡会が、開催されてきました。

第4回住民自治協議会4地区連絡会は、11月28日（月）午後2時から芹田支所で、関係者22名が出席し、環境美事業をテーマに開催しました。ごみに関する事業については4地区ほぼ同じで、実施している中での問題点や方法等について意見を交わしました。古牧各地域におけるごみ処理・環境パトロールなどについて多くの質問がありました。三輪地区からは、エコドライブ体験、芹田地区からは、花いっぱい
の会による花壇作り・花の苗交換会等の活動報告もありました。



古牧地区第28回 ふるさと文化芸能祭開催

古牧地区ふるさと文化芸能祭は、文化の日
に展示部門は古牧公民館、芸能部門は古牧小
学校体育館を会場に、地区の大勢の皆さんに
参加いただき開催されました。

展示部門では、1階学習室に成人学校の部
で手編み・パッチワーク・水墨画・テープク
ラフトなど、2階は書・木彫・粘土細工・陶
芸・絵画・ちぎり絵・写真・押し花・生花な
ど、力作が揃いました。中でも「生花は1日
だけでは、もったいないネ」などの声も聞か
れました。

第1部芸能部門では、今年も小・中学生に
よる合唱演奏は迫力満点でこの演奏を楽しみ
に毎年足を運んで来られる方もおられる様で
す。

第1部の最後は太極拳、12名の皆さんの息
の合った演技とカンフー体操には、ゆっくり
とした動きの中に力強さを感じました。第2
部地域公民館の部では、ほほえましい子ども
さんの舞踊に始まり、出演者皆さんの練習の
成果が発揮されました。最後に演奏と歌では、
25周年を迎えたアンサンブルたかださん
による古牧公民館の歌で閉
会しました。



大抽選会も盛大に!!



- 特等 自転車 1本
- ★1等 米 6本
- ★2等 食用油セット 6本
- ★3等 クレラップ 60本
- ★ラッキー賞 図書カード 3本

手をつなぎ 未来につなげよう みどりっ子 緑ヶ丘小学校開校20周年記念式典 開催

緑ヶ丘小学
校開校20周年
記念式典が、
11月26日(土)、
児童父母など
1,000名が集
い、盛大に開
催されました。



緑ヶ丘小学校は、平成4年4月、日詰・南
高田・南長池・西尾張部4地区の児童658名
で開校し、平成21年度801名をピークに以後
減少傾向にあります。23年度は774名の児
童が通学しています。平成9年に『物語
「緑の丘」の歴史』の刊行、平成13年は、10
周年記念事業で中庭の築山などを行い、16年
には南校舎の造築をするなど行ってきました。
今年度は開校20年を迎えるにあたり、シンボ
ルマーク・スローガンを決め、記念誌発行、
記念校庭運動会・音楽会、緑の丘まつり、航
空写真などの記念事業を行って、記念式典を
迎えました。

記念式典は第1部 式典、第2部 学習発
表会の2部構成で開催されました。

第1部式典では、記念品として図書と本棚
が贈られました。第2部学習発表会では、西
尾張部の子ども神楽・獅子舞が上演され、続
いて金管バンドの音色が体育館一杯に響きわ
たりました。

続いて学年発表があり、4年生「信濃の国」
・5年生「ソーラン節」のダンスが華やかに
踊られ、6年生は「History of
MIDORIGAOKA」を発表しました。



最後は全校
合唱と呼び
かけ「緑の
四季」で、
記念式典を
感動的に終
わりました。

10年を迎えた 『にとはちさま』公演

南部小6年劇団「絆」106名が熱演

11月27日（日）民話劇「にとはちさま」が、南部小学校6年生106名による劇団「絆」によって上演されました。10年目の公演ということで、歴代のスタッフだった中学生たちが、校長先生といっしょに参観者を迎えてくれました。

7月20日に劇団「絆」の練習「開始式」が行われ、10月から週2回の練習で公演を迎えました。

劇は、劇団「絆」全員がステージ前で歌う「今も伝わる」で始まりしました。第1場が終わり幕間に「私たちは忘れない」が歌われました。第2場 母との別れでは、思わず涙する観客もいました。

第4場 助弥の取調べの場面では、舞台装置と助弥の熱演で、ぐっと盛り上がりました。「にとはちさま」公演が始まって今年度は10年目の公演にあたり、いろいろと工夫がされ、劇団「絆」の真に迫った熱演により、感動的な「にとはちさま」になりました。



劇を終えた後 助弥を演じた笠井有咲さんは、頬を紅潮させながら、「せりふがしっかり言えて一安心です。無我夢中で演じました。助弥の心が少しでも分かってくれたらと思います。」と感想を話してくれました。

初めて観劇した30代の男性は「子どもたちの熱演が素晴らしかった。地域に伝わり残る民話が、こうした形で受け継がれていくことはとても良いことだと思う」と感想をのべていました。

また60代のおじいちゃんは、目をうるませながら「よかった。よかった。」と繰り返し言っていました。

劇は、翌日ダブルキャストにより公演され、全校児童が観劇しました。



古牧地区の世帯数と人口

23年12月1日現在

10,547 世帯

26,103 人

(男 12,903人 女 13,200人)

古牧地区住民自治協議会のホームページアドレス

URL <http://www4.ocn.ne.jp/~komakij/>

■発行所	古牧地区住民自治協議会
■発行者	湯澤 角雄
■編集	ぷらネットこまき編集委員会
■印刷	有)小池印刷

「震」の意味をもつ。後に覚え易くするために神話上の動物である龍が割り当てられたとも聞く。

「漢書 律曆志」では動いて伸びる・整うの意味とし、草木が盛んに成長し形が整った状態を表すと解釈されています。

十二支の思いは人それぞれあると思いますが、何事も最初が大切、今年も良い年になるように、新たな気持ちでスタートしたいものです。

(金澤 正義)



「しゃばえんぴつ」は二枚貝が開き、弾力性のある肉をピラピラと動かしているさまを描いたもので「振」とある。

今年「龍」 新たな気持ちでスタート

今年の十二支は五番目の辰年、語源・由来を調べると辰の本来の読みは「しん」で原字は「蜃」とある。